



第160号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

入学式 式辞(要旨)

「広大な美しいキャンパスで
人間性豊かな大学生活を！」学 院 長
小 出 忠 孝

本日ここに多数のご来賓のご臨席を得て、平成二〇年度愛知学院大学入学式を挙行できますことは誠に喜びにたえません。新入生諸君、入学おめでとう。心からお祝いを申し上げます。

諸君が入学した愛知学院は一八七六年に創設され、本年で一三二年の歴史と伝統を持つ中部で最も古い学園です。大学は現在文・商・経・法・総合政策・心身科学・薬・歯の八学部一七学科、大学院博士課程八研究科を有し、学生数一万二千名を擁する中部で最大級の規模と充実した内容を誇る私立の総合大学となっています。この日進キャンパスは緑に囲まれた一五万坪の

広大な敷地に各種の近代的教育研究施設、運動施設を完備し、教育環境、施設共にわが国有数の理想的大学キャンパスです。高校とは規模も質も異なり、この広大な美しいキャンパスで諸君は多感な青春時代を送り、心身共に伸び伸びと、特に心豊かな心を持つた人間に成長して頂きたい。また北海道から沖縄に至る全国各地から入学した一万二千名の先輩、友人と一緒に学び交流出来る本学の特色を最大限に活用し、人間性豊かな充実した大学生活を送られることを期待します。

「行学一体の理念」

愛知学院は曹洞宗設立の私学です。宗祖道元禅師の教え



「教育力の一層の充実」

諸君が入学した愛知学院は、一三二年の歴史と伝統を持つた人間に成長して頂きたい。また北海道から沖縄に至る全国各地から入学した一万二千名の先輩、友人と一緒に学び交流出来る本学の特色を最大限に活用し、人間性豊かな充実した大学生活を送られることを期待します。

新宿御苑の「観桜会」に小出学長招待される。

福田内閣総理大臣主催の新宿御苑「桜を見る会」が四月十二日に開催されたが、小出学長夫妻は招待され満開の桜の下で各界の代表と懇談された。永年、文科省の各種審議会や委員会委員の他、大学評価機構、私学事業団、私大関係各種団体の役員を務める学長の功績によるものである。

近年わが国高等教育の発展はめざましく、大学・短大の進学率は五十%を超えて、大学ユニバーサル化時代となり、学生の学力もニーズも多様化しています。大学教育も学部では教養教育と専門基礎教育を中心とし、専門性の向上は大学院で行います。これに対応し本学では、多様なカリキュラムの編成、外国語によるコミュニケーション能力やコンピュータによる情報処理能力の育成、学生に理解し易い授業内容、各種教育機器を利用する教育方法等、教育力の一層の向上に努めています。



さらに諸君は本学の多くの運動系文系クラブでの活動を通じて、先輩友人と交流し、協調性や指導力など人間性を磨く努力もして頂きたい。

「学びの習慣」

諸君が将来活躍する廿一世紀社会は、学歴より大学時代に何を学び何を身につけ、如何に社会で役立つかという「実力」が重視されます。そのため諸君は社会で活躍できる実力を、充分に学習し身につける必要があります。しかし昨

年東大が実施した大学生四万人の調査によると、2/3の学生が、勉強時間一日一時間未満であり、また全然勉強しない学生が十二%もいるという実態です。一方昭和女子大の調査によると、自己学習や読書に熱心なサラリーマンは所得が多く、仕事も充実しており、さらに学生時代もよく勉強し、読書に熱心であったと報告しています。大学時代

平成二十年度

大学後援会総会開催

新会長に榊原讓氏

さつき満開の五月十日大学

後援会総会が全国各地から大勢のご父母の出席を得て日進キャンパスの百周年記念講堂で盛大に行われた。若尾治実後援会会長、小出忠孝学長の挨拶のあと、平成十九年度事業、決算報告、平成二十年度事業計画案、予算案につづき役員人事などが審議され原案どおり承認された。

本年度本部役員改選で、新会長に榊原讓氏、副会長に尾関章司氏・湯澤信雄氏・村瀬正和氏の三氏が選出され十五人の新本部役員が決定した。

また大学の近況等について、竹市良成教務部長、黒神聰学生部長および芝隆史キャリアセンター部長からそれぞれ近況報告があり総会を終了した。

二時半からは会場を第三食堂(ピストロット)に移し、ご父母や大学教職員との親睦を深めるためにレセプション

諸君は大学が「学びの場」であり「遊びの場」ではないことに銘記して頂きたい。折角難関を突破して大学に入学しながら学生の本文である勉強を忘れ、努力を怠り、安易な享楽主義に耽り青春を浪費することは、厳しく戒めなければなりません。一日一日を無駄に過ごすことなく、学業に課外活動に人間形成に、若い情熱をもって励み、「わが青春に悔いなし」と言える、充実した大学生活を送られる事を切望してやみません。



平成二十年度本部役員は次のとおり決定。

平成二十年度
大学後援会本部役員
(敬称略)

会 長	榊原 讓
副会長	尾関 章司
総務部長	湯澤 信雄
教育部長	村瀬 正和
支部活動部長	神谷 竜也
課外活動部長	関谷 俊征
厚生部長	多田 博剛
施設部長	水野 一樹
会 計	深澤 欽二
会計監査	島田 雄仁
	町田 功
	二村 康行
	佐藤 健嗣
	長橋 國和

副学長



小出 龍郎

この度、はからずも愛知学院大学副学長の大任を拝命致しました。もとより浅学非才の身であります。全力を尽くして、その職責を果たしていく覚悟であります。

本学は戦後旧制中学から出発した新制大学ですが、創設以来優秀な教授陣と同窓会、後援会をはじめとする数多くの先方のご支援により、私立大学の中でもリーダー格として発展し、中部地区でも有数の大学となつて参りました。今春、本学は心身科学部に「健康栄養学科」を開設、文学部宗教学科を「宗教文化学科」へ改組致しました。「行学一体・報恩感謝」の建学の

心身科学研究科長



田畑 治

このたび大学院心身科学研究科長を拝命しました。科長として2代目になります。この春に心身科学部・健康科学科の第一期生が卒業し、それとともに大学院「健康科学専攻」が新たにスタートしました。既設の「心理学専攻」と併せての2専攻を擁する研究科になりました。心身科学研究科の目標は、「行学一体」「報恩感謝」の精神に則り、人間探究を心身の2方向、つまり心理学的視点と身体的視点から実践研究し、専門的な知識と技術を習得させ、高度な専門職人、あるいは先端的領域の研究者を育成することを目標としています。心理学

副学長



大野 栄人

この度、不肖私が副学長を拝命いたしました。大学の置かれた厳しい現実を生きぬくために私が相応しいとは考えておりませんが、本学の生き残り、さらなる発展のために身を注いでいく覚悟をいたしております。

今、日本の大学は、少子化のありを受けて、募集定員を充足することのできない大学が続出し、危機的状況下にあります。本学も決して例外ではありません。今年にはたまたま多くの新入生を迎えることができたが、来年はどうなるか分りません。本学が生き残っていくために「今」何をすべきなのか。今こそ本学の全教職員が一丸と

就任あいさつ

経営学研究科長



飯島 正樹

経営学研究科に入学されたみなさん、おめでとうございませう。経営学研究科は、平成5年に大学院修士課程、翌年に博士課程が設立されて以来、15年が経過し、多くの修了生が各方面で活躍しています。最近では、社会のグローバル化に伴い留学生が増え、従来からの税理士だけでなく、一般企業への就職が増えています。修士課程には海外や他学部からの進学者も多くありますが、他学部出身者は特に経営の専門書や関連する啓蒙書を広く読み、実際の企業現場で何が問題になっているか

教務部長・入試センター部長



竹市 良成

このたび教務部長と入試センター部長を拝命いたしました。微力ではあります。誠意の努力をする所存です。

高等教育機関をめぐる状況は年々厳しさを増しており、本学の志願者は昨年度の96%と微減にとどまりましたが、伝統と歴史を誇る本学、この厳しい状況下での志願者増加への反響をしたいと思います。母校愛知学院の発展のために熱い愛校心を抱かれて改革を推進された加藤勇夫前教務部長の方針をしっかりと引き継ぐ不安ではありません。全力で努力します。この2年間入試センターに務めまして痛感しましたことは、センターの職員全員の方の職務への熱き情熱です。全員心身ともにタフ

総合政策研究科長



北住 炯一

愛知学院大学総合政策研究科は、総合的な視点と幅広い知識に基づき問題を発見し、これに分析を加え、問題解決に向けた政策を提起できる高度な専門能力を養うことを目的としています。このような理念のもとに、これまで高度職業専門人を養成し、また社会人の再教育を行ってきました。しかし、研究科は今、いっそうの充実を図るべく大きな転換期を迎えています。例えば、研究教育スタッフの更なる補充と教育プログラムの改革、院生の履修のあり方の改善、学部教育との連動体制の構築、東海地区の総合政策系大学院との提携などを

キャリアセンター部長



芝 隆史

この度、計らずもキャリアセンター部長の職に就くことになりました。学生諸君の出口を担う責任者として、その仕事の重要さを身をもって感じております。現在、本学卒業生の内、就職希望者の97%以上が就職を決定出来ていますが、この数字をさらに内実ともに上昇させることが急務であると考えております。そのためには学生諸君が入学すると同時に自らのキャリア開発にとり組める環境作り(エクステンションセンターの充実)を積極的に、目的意識を持ってキャリア・アップに励みながら、自らの将来について考えることの出

来る場(キャリア相談)をより多く作る努力をして行こうと思っております。一度限りの人生、それだからこそ、本当に有意義な学生生活を送ってもらうためにも、キャリアセンターは学生諸君と同じ目線に立つて何が出来るのかを考え、アドバイス出来る場でありたいと考えております。

自らを振り返っても、もう少しあの時やっておけばよかったと思うことは多々ありますが、そんな反省の一つでも二つでもなくすむような手助けが出来ればと心から願っております。

総合政策学部長



宮 克美

平成二十年四月から総合政策学部長をつとめることになりました。学内ならびに学部内のみならずのご協力を得て、この大役を果たしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。現代社会の多様な変化に対応し、そこに生じるさまざまな問題を解決するためには、既存の枠にとらわれず、複数の学問分野の知識や技能を活用して問題に対処する必要があります。総合政策学部長は、人間と社会に関わる問題を総合的な視点から考える学部です。「問題」を自分自身の力で発見し、分析し、解決する力を実践的な学びの中で身に

つけていきます。そして、政策立案し、提言できる人材の育成を行っています。専攻は二つあります。一つは総合政策専攻で、「社会」に焦点をあてた専攻です。社会の仕組みや成り立ちについて考え、より良き市民社会の構築をめざしています。もう一つはライフデザイン専攻で、「人間」という存在に焦点をあてた専攻です。自分らしく生きる方法や周囲の人々の生き方を支援する方法を考察していきます。総合政策学部の就職率は、全国でもトップクラスです。学生のみならず、みずからの将来に向けて自分自身を磨いて下さい。そして「なりたて自分」になれるよう「努力して下さい。教職員一丸となつて、学生のみならずのニーズに対応していきます。

總合政策研究科主任	森下 英治	教務主任	酒井 英一	齒學・藥學	作野 誠
齒学部研究科主任	中垣 晴男	事務局		圖書情報センター事務長	
文學部部長	黒田 安雄	事務局次長	柴田 光徳	齒学部附属医院	
心身科学部部長	佐藤 祐造	庶務課長	坂倉 正仁	病院	田中 貴信
商学部部長	田畑 康人	經理課長	坂倉 正仁	事務長	伊藤 孝真
経営学部部長	内藤 勲	教務部顧問	加藤 勇夫	研究支援センター	
法学部部長	山野 嘉朗	高等教育研究所特別顧問		センター部長	野口 俊英
總合政策学部部長	二宮 克美	教務部部長	竹市 良成	事務長	大竹 嘉鑑
薬学部部長	佐々木琢磨	教務部長(大学院担当)	安藤 正見	附屬機関	
歯学部部長	野口 俊英	教務課長	植田 和次	国際研究センター所長	梅川 正美
教養部部長	稲垣 正巳	歯学部事務室事務長	岩田 昌彦	国際交流センター所長	引田 弘道
留學生別科長	近藤 勝志	薬学部事務室事務長	西尾 公司	人間文化研究所長	伊藤 秀憲
文学部教務主任	小林 隆夫	入試センター		心身科学研究所長	村松 喬
心身科学部教務主任	裴輪 顕量	入試センター部長	竹市 良成	産業研究所長	岡田 義昭
商学部教務主任	池田 豊應	入試広報課長	藤村 信隆	流通科学研究所長	斎藤 忠志
経営学部教務主任	渡邊 隆俊	学生部		経営管理研究所長	林 伸彦
法学部教務主任	木下 和也	学生部長	黒神 聰	宗教法制研究所長	服部 朗
總合政策学部教務主任	堅田 研一	学生部次長	大塚 隆寛	政策科学研究所長	新海 英行
薬学部教務主任	岩田 和男	キャリアセンター		口腔先端科学研究所長	中村 洋
歯学部教務主任	樋 彰	キャリアセンター部長	芝 隆史	語学研究所長	福山 悟
教養部教務主任	戸苅 彰史	キャリアセンター次長	江崎 修	外国語視聴覚教育センター所長	勝股 高志
〃	土屋 友幸	就職課長	浅野 邦仁	情報処理教育センター所長	山口 均
〃	石川 一久	キャリア支援課長	中尾 猛	ネットワークセンター所長	森下 英治
〃	有馬 義康	図書館情報センター		心理臨床教育相談室長	杉下 守男

平成二〇年度
入学式新しい
門出に向けて

例年になく暖かな春の訪れが早く、桜の花を気にしながら指折り数えて迎えた入学式。その願いがかない、キャンパス内にある千本を超える満開の桜の下、平成20年度入学式が4月5日、三三三〇名の新生を迎え、日進キャンパス百周年記念講堂にてとり行われた。

当日は晴天にも恵まれ、新生の新生活への希望にあふれた笑顔がキャンパス中に拡がり、新たな息吹を感じることができた。

式は9時15分から大学院・文学部・心身科学部・薬学部・歯学部・留学生別科。11時15分からは商学部・経営学部・法学部・総合政策学部の二回に分かれて行われ、小出忠孝学長の式辞に続いて、若尾治実後援会会長らが祝辞を述べ新生を祝福した。

式終了後は各学部学科毎に教室に分かれ、教員との対面式や、大学生の証である学生証の授受など、大学生としての最初の1日を過ごした。

また、短期大学の入学式は4月4日、楠元キャンパス百周年記念講堂にて行われた。

様々な想いで大学の正門アーチをくぐってきた新生諸君に、豊かで実りある学生生活が形成されんことを願います。

春の叙勲・褒章に本学から
3氏が選出される

このたび本学関係者の次の3氏に平成20年春の叙勲・褒章が授与されました。各氏の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展、学術、芸術上の発明、改良、創作に寄与した功績に對し授与されたものです。

各氏の授賞に当たっての功績等を紹介します。

瑞宝重光章



菅本 忠男
法科大学院特任教授

菅本教授は、昭和13年1月2日生。京都大学在学中の昭和34年司法試験に合格、昭和37年司法修習生の課程を終えて判事補となられ、昭和47年判事、以後平成20年1月に簡易裁判所判事を定年退官されるまで、46年間にわたり裁判官を務められた。この間、大阪、宮崎、大阪、岐阜、名古屋の地方裁判所、家庭裁判所、大阪および名古屋の高等裁判所で裁判官を務められ、主として刑事部、少年部に属して活躍された。また、鳥取地裁家庭裁判所所長、名古屋高等裁判所総括判事(刑事部)も歴任された。これらの長年の裁判官功績により叙勲を受けた。

平成20年4月、愛知学院大学大学院法務研究科特任教授として着任され、法曹倫理と

瑞宝中綬章



浪川 正巳
名誉教授

浪川正巳名誉教授が、長年の教育研究功績により瑞宝中綬章を受けた。同教授は昭和3年9月28日生。早稲田大学大学院修了。昭和32年4月法学部設置に伴い、商法特任に會計法の専任講師として着任。同41年に教授就任。同52年から法学部長、平成元年に就職部長に就任。また、学生の課外活動、特に硬式野球部部長

刑事裁判に関する実務科目を担当されている。

紫綬褒章



立川 武蔵
文学部教授

立川武蔵文学部教授が、長

として長年寄与された。研究面では、オーストラリア会社法における取締役の地位と権限を検討すること、わが国の会社取締役の権限と責任を比較視から考察したもので、その研究成果は現行会社法の解釈論にも大きな影響を与え、学会でも高い評価を得た。その他弁護士資格を取得され、社会活動でも広く貢献された。

年の学術功績により紫綬褒章を受けた。同教授は昭和17年2月6日生。名古屋大学大学院博士課程中退の後、米国立ハーバード大学大学院満期退学。昭和60年2月文学部博士の学位取得。平成15年4月より本学文学部教授として着任。同教授は一貫して仏教の現代思想としての役割を研究課題としてきた。同教授が仏教を志したのは高校時代の恩師の「人間は自己反省しなれば未来は破滅する」の言葉に刺激を受け、人間の欲望の制御を目指した仏教の精神を現代社会にあわせ解釈してきた。今後もいっそう現代の人たちに仏教思想の生かし方を伝え続けたいと抱負を述べられた。

早稲田大学から博士(法学)の学位授与



山野 嘉朗
早稲田大学から博士(法学)の学位授与

本学法学部教授山野嘉朗氏に、平成20年3月5日付けで早稲田大学から博士(法学)の学位が授与された。同氏は、昭和27年生まれ。昭和57年3月早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程を単位満了退学し、同年4月本学法学部に専任講師として着任後、助教を経て現職にある。その間、平成8年と平成15年の2回にわたり、客員教授としてエクスマルセイユ第3大学大学院(フランス)で日仏比較法の講義を行っている。

学位授与の対象論文である著書「保険契約と消費者保護の法理」(成文堂、2007年)は、総頁数364頁からなる。同書の特色は、消費者保護を視座に据えつつ、保険契約法上の現代的問題にメスを入れた点にある。同書は、序論、第一章「保険契約法の現代化と消費者保護法」、第二章「告知・通知義務」、第三章「故意・過失責任」、第四章「保険事故の偶然性と立証責任」、結論という構成を取っている。第一章では、保険契約法の現代化を実現したフランスとベルギーの立法内容を精緻に分析し、わが国の立法および保険実務のあり方を論じている。第二章以下では、保険契約法上の最重要問題を、フランス・ベルギー・日本の判例・学説の検討を通じて鋭く分析している。なお、同書においては、海外研究調査を繰り返すことなどによって収集した膨大な数量の文献・資料を丹念に翻訳・分析し、その成果をわが国で生起している法的問題の解決に援用するという手法が一貫して採用されている。同書では、各章の冒頭に総説を置き、当該問題を論じることの意義を明らかに

服部朗氏に
早稲田大学から博士
(法学)の学位授与

服部 朗

本学法学部教授服部朗氏に、平成19年9月26日付けで、博士(法学)の学位が授与された。同氏は昭和28年生まれ。昭和53年立教大学法学部卒、昭和60年早稲田大学大学院法

にすると工夫も凝らされている。同書は、学会誌の書評において「本書で取り上げられている諸問題は、いずれもわが国の保険契約法においても重大な課題とされているものであり、フランスおよびベルギーの法理論の詳細な検討は、わが国の今後の法理論の発展にきわめて大きな貢献をするもの」と高く評価されている。

学研究科博士後期課程を満期退学。同年本学法学部専任講師、助教を経て平成7年より教授。現在、犯罪社会学会常任理事、司法福祉学会監事などを務めている。学位論文は、平成18年に1冊の本として出版された「少年法における司法福祉の展開」(成文堂)。服部氏は、「司法」と「福祉」との交錯・統合という一貫した問題関心のもと、少年法が直面する課題にアプローチしている。同氏は、まず、明治以降の歴史の中で少年法の現在を捉え、司法と福祉との分離傾向とその再統合の課題を指摘している。そして、重大な非行にのみ関心が集中してしまっている現状に問題を投げかけ、軽微な非行を重大な非行にさせないために、虞犯の取扱い、簡易送致の運用、保護的措置の充実について考察している。また、少年手続における適正手続保障について検討し、成人の刑事手続の援用としてではなく、少年法の基本原理とし

てその意義を考究している。そして、少年法および児童福祉法の改正問題をその社会背景を含めて取り上げ、詳しい内容の検討を行っている。その上で、同氏は、将来の少年法制を展望し、被害者問題への取り組みの充実や、少年審判への市民参加を提案している。

服部氏の著書(博士論文)は、司法と福祉との交錯・統合という問題関心に貫かれ、内外の文献を丹念に参照しつつ分析を行ったもので、今回の学位授与は、同氏の長年にわたる少年法研究が高く評価されたものである。最近、同氏は、自ら少年事件の付添人となったり、担当ゼミの学生が名古屋家裁のボランティア活動に参加するなど、実務との連携を大切にして教育研究を進めている。今後は、少年法における「理論」と「実務」との架橋、アメリカ少年法の現場に踏み込んだ研究成果の公表が期待される。

進路・就職状況について

平成19年3月
卒業生の就職環境

平成19年度の就職状況は、一昨年の10月から早々に就職情報各社のサイトがオープンし、それにつられて19年度の学生にとっての就職活動が本格的に動きだしました。就職戦線スタート当初は企業の経営環境は好景気に支えられ、また団塊の世代の企業戦士が抜けた穴をふさぐために量的にも採用数は多数に昇りました。特に本学の位置する中部地区はトヨタ自動車をはじめとする、自動車産業や工作機械メーカーなど多数のメーカーがそのけん引役となっていました。そのため、いわゆる製造業(メーカー)に留まらず、商社、金融なども競って学生を採用するという構図が描かれました。

本学においても早期化の波に乗り、11月からはメジャー企業セミナーを開始、上場企業・有名企業をお呼びし学内で説明会を開催いたしました。さらに1月には地元企業を中心に企業就職面談会を開催いたしました。企業の採用戦線は活発でしたが、採用の基準(ハードル)は下がることは無くそれぞれの企業の厳格な目で見て学生を選別するといった「厳選採用」は崩れませんでした。

就職希望しなかった学生の進路は、大学院進学、他大学編入、専門学校入学、非常勤講師、海外留学などのほか、最近では国家資格取得、公務員や教員採用試験を来年度も再度チャレンジするといったことが挙げられます。

民間企業への就職を希望しながら納得のいく成果が得られず卒業後も活動を継続している卒業生には、キャリアセンターには既卒者向けの求人情報が届いていますので未就職者への支援も継続して行っています。

平成20年度(平成21年3月卒業予定)の就職環境

企業の採用意欲は企業業績の向上とともに回復してきています。新卒の就職環境は依然として売り手市場となつていますが、米国のサブプライム

就職決定状況

一昨年の夏以来、学生にはグループディスカッション、グループ面接、個別面接など多様できめ細かな対応をしてきました。昨今の就職活動は、最初にプレエントリー、次に

中でも従来採用が少なかった製造業についても文系枠を増やしています。企業の採用は新卒のみならず中途採用者の増加も見込まれていますが、学生数の減少もあいまって厳しい採用競争が行われていきます。とはいえ、新卒の採用ではコミュニケーション能力が代表される「社会人基礎力」が問われますので、他人とのコミュニケーションが苦手な学生にとってはこれからが正念場となってくるでしょう。

本学のキャリア形成支援・就職支援の取り組み

本学では、入学直後からのキャリア形成教育に取り組んでおり、キャリア形成支援と就職支援(相談・指導・斡旋)に対して、段階的かつ実践的な支援プログラムを確立しています。

キャリア支援では「キャリア・デザイン」「インターンシップ」を正課科目として開講しています。特に、「キャリア・デザイン」は、文系の全学部1・2年生向けのキャリア教育科目として位置づけ、低学年次から「生きる」と「働くこと」を意識させることを目的としています。

就職支援では、3年生から実施する進路・就職ガイダンスと呼んでいる大型ガイダンスのほか、昨年11月から始めた少人数単位で就職活動のレクチャーをするグループセミナーなどの参加者は延べ人数で1100名(2月末現在)を数えています。キャリアセンターにはキャリアアカウンターを常時配置し、随時個別指導に対応しています。

また、近年企業の人的なグローバル化に伴って海外からの社員も増えてきており、学生にとっての就職の場面では「英語力」が問われてきています。その現われとして多くの企業が採用時の書類の中にTOEICの点数を問うようになっています。

英語力強化対策の一環として、「AGUキャンパス留学NOVA」を開講いたしましたので大いに利用していただきたいと思います。

就職斡旋では、本学に届く求人内容はインターネットを通していつでも、どこでも閲覧できるシステムを完備しています。学生は常に大学に届いた最新情報を手でできるようなになっています。就職情報や就職ガイダンスなどのメール配信にも力を入れ学生の利便を図っています。

キャリアセンター
キャリア支援課長
中尾 猛

心理臨床・教育相談室の移転開室について

懸案であった心理臨床・教育相談室の移転開室が実現しました。相談室の活動は平成9年に始まりましたが、平成12年に臨床心理士資格認定協

3号館耐震工事ならびに
バリアフリー工事終了

昨年度来より工事を行ってきた3号館の耐震・バリアフリー工事が3月末に終了しました。3号館は、日進キャンパスの中でも、本部棟・3号館・9号館・14号館と、東西に結ぶ中心的な軸でもあり、また6号館への渡り通路もあり、まさに学生にとっても要の校舎でもある。



会から相談室関係の施設を1カ所に統合するようにとの指導を受けました。当時から関係者の1人として今日の日を迎えることができて感無量です。大学の方針で、3号館の全面的な耐震工事と併せて行う改築の一部として3号館に統合した相談室を作ることになりました。完成するまでの間、3号館にあった施設を本部棟地下に移し、本部棟にあった施設と合わせて、手狭な中で活動して来ましたが、本部棟というところもあり、この間ご迷惑をおかけした方もあるのではないかと思います。本部棟で全面活動を始めてしばらくして利用者が急激に増えだし、一部利用申し込みに対応できない事態が出てきた

の渡り通路もフラット化され、今回の工事に伴い校舎への入口も自動扉化し、身体の不自由な学生にとっても移動がスムーズに行えるようになった。さらに、耐震工事に伴い、内部のレイアウトも変更が加えられ、照明やトイレの改装などを施し、モダンな内装へと変貌を遂げました。

平成20年度愛知学院大学モーニングセミナー予定

講演予定日	演題・講演者
○第27回 6月10日(火)	「仏教の仏たち」- 仏・菩薩・明王 - 愛知学院大学文学部 教授 立川 武蔵 先生
○第28回 7月 8日(火)	「健康チェックは大便から」- 大便(ウンコ)についてうんちくする - 愛知医科大学 名誉教授 金光 泰石 先生
○第29回 8月12日(火)	「彼岸花が日本にきたわけ?」- 彼岸花は米とともに - 愛知大学文学部 教授 有蘭 正一郎 先生
○第30回 9月 9日(火)	「夢はうつつか……」- うつを夢から見てみると - 愛知学院大学心身科学部 教授 江口 昇男 先生
○第31回 10月14日(火)	「笑いは脳を活性化する」 金城学院大学文学部 教授 森下 伸也 先生
○第32回 11月11日(火)	「印象 日の出の絵画」- モネはなぜ印象派の代表と呼ばれるのか? - (仮題) 名古屋市美術館 学芸課長 深谷 克典 氏
○第33回 12月 9日(火)	「なぜ12月は第九なのか?」- 第九のなぞを探る - 名古屋音楽大学 教授 田中 省三 先生

予約不要 どなたでも参加できます

日 時: 毎月第2火曜日午前7時から8時
会 場: 愛知学院 補元学舎110周年記念講堂
〒464-8650名古屋市中千種区補元町1-100
電話 052-751-2561

愛知学院大学
モーニングセミナーを開催

本や人の話から知識を得て、それに創造と夢を抱いたところが懐かしい。人の話を聞くことは人生を何倍にも大きく育ててくれる絶好のチャンス……!



「偶然に聞いた話が人生を変えた」。まさにセレンディピティです。「早起きは三文の徳」早起きをして興味ある話を聞く。大学の使命の一つとして地域との連携が重要視されている折、大学が持っている知識や知恵を広く一般の方に公開し、多くの方に聞いてもらえよう開催している「愛知学院大学モーニングセミナー」は今年度3年目を迎えます。今年度も4月8日から始まり、毎月1回開催されます。予約は不要ですので振るってご参加ください。

平成20年度 後援会支部懇談会 全国27会場で開催

平成二十年年度の支部懇談会が五月三十一日(土)から七月六日(日)まで全国二十七会場でおこなわれます。当日後援会本部役員をはじめ、大学から担当の教職員が出席して、ご子女の成績、クラブ活動、就職など学生生活全般に関わる相談を承ります。当日は、既にご送付致しましたご子女の成績表を必ずご持参下さい。

今回支部懇談会にご出席いただく方には、キャリアセンタールからプレスメント・ガイドとキャリアサポートガイドを差し上げます。また、次の八会場において各教授の講演も行います。万障くり合わせご出席下さいますようお願い申し上げます。

支部懇談会講演会

●六月七日(土) 静岡
二宮克美 総合政策学部長
「現代青年の心理」

●六月八日(日) 一宮
稲垣正巳 教養部長
「教育と大学」

●六月二十一日(土) 岐阜
佐藤祐造 心身科学部長
「メタボリックシンドローム」

●六月二十二日(日) 四日市
佐藤祐造 心身科学部長
「メタボリックシンドローム」

●六月十八日(土) 名古屋(日進)
黒田安雄 文学部長
「黒田が結んだ二つの「家」」

●六月十九日(日) 名古屋(瑞穂)
佐々木琢磨 薬学部長
「がんのくすり」

●六月十九日(日) 名古屋(瑞穂)
野口俊英 歯学部部長
「歯周病とメタボリックシンドローム」

●六月二十九日(日) 浜松
山野嘉朗 法学部長
「ピートルズ、偏見、そして大学教育」

平成20年度 支部懇談会会場一覧

月/日	開催地	会場名	所在地	大学代表者
5.31(土)	名古屋(瑞穂)	楠元学舎	名古屋市千種区楠元町1-100	小出副学長
6.7(土)	山口	ホテルみやけ	山口市小郡黄金町2-24	黒神学生部長
6.7(土)	徳島	センチュリープラザホテル	徳島市南昭和町1-46-1	芝 キャリアセンター部長
6.7(土)	静岡	サンパレスホテル	静岡市駿河区南町11-29	二宮総合政策部長
6.8(日)	広島	リーガロイヤルホテル	広島広島市中区基町6-78	黒神学生部長
6.8(日)	高知	三 翠 園	高知市鷹匠町1-3-35	芝 キャリアセンター部長
6.8(日)	一宮	グランドティアラー宮	一宮市浅野字長池67	稲垣教養部長
6.14(土)	富山	富山電気ビルディング	富山市桜橋通り3-1	竹市 教務・入試センター部長
6.14(土)	岡山	岡山プラザホテル	岡山市浜2-3-12	内藤経営学部長
6.15(日)	高山	ひだホテルプラザ	高山市花岡町2-60	竹市 教務・入試センター部長
6.15(日)	島根	ホテル一畑	松江市千鳥30	内藤経営学部長
6.15(日)	大分	大分センチュリーホテル	大分市府内町1-4-28	二宮総合政策部長
6.15(日)	長野	ホテルブエナビスタ	松本市本庄1-2-1	小出副学長
6.21(土)	岐阜	岐阜グランドホテル	岐阜市長良648	佐藤心身科学部長
6.21(土)	関西(大阪) (歯学部以外)	ホテルラフォーレ新大阪	大阪市淀川区宮原1-2-70	稲垣教養部長
6.22(日)	四日市	四日市都ホテル	四日市市安島1-3-38	佐藤心身科学部長
6.22(日)	多治見	オースタット国際ホテル多治見	多治見市白山町4-14-1	田畑商学部長
6.28(土)	名古屋(日進) (歯・歯学部以外)	日進学舎	日進市岩崎町阿良池12	稲垣教養部長
6.29(日)	名古屋(瑞穂) (歯・歯学部)	楠元学舎	名古屋市千種区楠元町1-100	佐々木薬学部長 野口歯学部部長
6.29(日)	浜松	オークラアパホテル浜松	浜松市板屋町111-2	山野法学部長
7.5(土)	熊本	熊本ワシントンプラザ	熊本市下通2-3-10	田畑商学部長
7.5(土)	福井	ホテルリバービューあけぼの	福井市中央3-10-12	佐々木薬学部長
7.5(土)	東京	八重洲富士屋ホテル	東京都中央区八重洲2-9-1	二宮総合政策部長
7.6(日)	福岡	ホテル日航福岡	福岡市博多区博多駅前2-18-25	田畑商学部長
7.6(日)	石川	金沢都ホテル	金沢市此花町6-10	佐々木薬学部長
7.6(日)	豊橋	ホテルアソシア豊橋	豊橋豊橋市花田町字西宿	山野法学部長
7.6(日)	関西(京都) (歯学部)	ホテルグランヴィア京都	京都市下京区烏丸通塩小路	野口歯学部部長

歯科医師国家試験

全国私立大学第1位の合格率(新卒者)

本年2月に実施されました第101回歯科医師国家試験の合格発表が3月27日に厚生労働省より発表されました。本学歯学部からは新卒者122名が受験して、111名が合格しました。合格率は全国平均75.6%を大きく上回る91.0%と好成績をあげました。この成績は私立歯科大学・歯学部(17校)中第1位の成績でした。

本学歯学部の歯科医師国家試験は創立以来トップレベルの合格率を堅持し、今回もその実力を証明しました。これも、本学歯学部学生の日頃の勉学の積み重ねと、熱心な教職員の指導、サポート体制ならびに日本一の教育施設に支えられたことによるといえます。

第101回 歯科医師国家試験合格者状況(新卒者)

順位	大学名	受験者数	合格者数	合格率
1	愛知学院大学歯学部	122	111	91.0%
2	日本大学歯学部	118	104	88.1%
3	東京歯科大学	126	109	86.5%
4	日本歯科大学新潟生命歯学部	80	69	86.3%
5	日本歯科大学	105	88	83.8%
6	日本大学松戸歯学部	134	105	78.4%
7	明海大学歯学部	105	82	78.1%
8	大阪歯科大学	118	90	76.3%
9	福岡歯科大学	93	69	74.2%
10	神奈川歯科大学	112	82	73.2%
11	鶴見大学歯学部	120	87	72.5%
12	昭和大学歯学部	85	61	71.8%
13	北海道医療大学歯学部	89	62	69.7%
14	松本歯科大学	73	48	65.8%
15	岩手医科大学歯学部	68	43	63.2%
16	朝日大学歯学部	110	68	61.8%
17	奥羽大学歯学部	90	43	47.8%
計		1,748	1,321	75.6%

新入生へのサポート

FAS・履修相談会



入学当初の大学生活に不安や疑問を持った新入生に対応するため、在学生がFAS(フレッシユマン・アシスト・サービス)を組織して、新入生がキャンパスライフを円滑にできるよう80人を超える在学生がサポート活動を行った。このFASのスタッフは3月下旬から4月下旬に渡り、赤いジャンパーを着用し、学生同士、身近な先輩として履修の方法、学内の教室の場所、



クラブ活動などの質問に気軽に回答していた。また、4月9日(水)には、図書館情報センター1階にて各学部学科の教員が直接新入生の履修の仕方について個別に対応し、今後の授業計画について熱心に質問に答えている姿が見られた。

楠元キャンパス内全面禁煙

従前より日進・楠元の両キャンパス内での喫煙は、指定された箇所での喫煙が義務化されていましたが、平成20年度より楠元キャンパスでは全面禁煙となりました。

この取組は健康増進法第25条およびタバコ規制枠組み条約(WTO)等の規定に従い、学生の健康並びに受動喫煙の予防を目的とし、薬学部・歯学部・短期大学部という医療を志す学生が集うキャンパスでもあり、小

出学長をはじめ、歯学部部長・薬学部長より日進・楠元の両キャンパス内での喫煙は、指定された箇所での喫煙が義務化されていましたが、平成20年度より楠元キャンパスでは全面禁煙となりました。

この取組は健康増進法第25条およびタバコ規制枠組み条約(WTO)等の規定に従い、学生の健康並びに受動喫煙の予防を目的とし、薬学部・歯学部・短期大学部という医療を志す学生が集うキャンパスでもあり、小

出学長をはじめ、歯学部部長・薬学部長より日進・楠元の両キャンパス内での喫煙は、指定された箇所での喫煙が義務化されていましたが、平成20年度より楠元キャンパスでは全面禁煙となりました。

この取組は健康増進法第25条およびタバコ規制枠組み条約(WTO)等の規定に従い、学生の健康並びに受動喫煙の予防を目的とし、薬学部・歯学部・短期大学部という医療を志す学生が集うキャンパスでもあり、小

平成20年4月1日スタート



健康増進法第25条およびタバコ規制枠組み条約(WTO)の発効により、学校敷地内での喫煙を禁止します。

愛知学院硬式野球部OB

比嘉公也氏

春の甲子園で
沖縄尚学監督として優勝

本学法学部法律学科卒業の比嘉公也君が自身の母校である沖縄尚学高校を優勝へと導いた。

比嘉君は平成12年本学に入学後、硬式野球部に在籍したが、故障のため選手としてではなく、学生コーチとして野球部を支えてきた。また、在籍中には教員免許を取得するなど、文武両道の学生生活をすごした。卒業後は母校の教

員となり、教員として、また野球部の監督として後輩の指導に専念している。

今回、第80回春の選抜甲子園大会では全国の数ある競合校と対戦し勝利を収めた。

比嘉君は自身が高校3年生のときの甲子園覇者であり、高校生のとき、また監督としても殊勲を勝ち取った。

比嘉君の今後のますますの活躍を期待しています。



平成20年 春の甲子園での一場面

比嘉公也氏からのメッセージです

沖縄尚学野球部監督 比嘉 公也

9年前の第71回大会の優勝の後、愛知学院大学に入学し、大学3年の秋からは硬式野球部の学生コーチをさせていたがきました。在学中、教員免許を取得し、母校の教師として2006年4月に赴任し、

その時の1年生が今の3年生。手塩にかけて育てた子どもたちが優勝を手にしたことは本当に恵まれているとしか言えません。ここまで頑張った選手たちに感謝の気持ちがいっぱいです。

沖縄尚学野球部監督 比嘉公也君は、1999年選抜甲子園大会でエースとして沖縄尚学高校を優勝に導きました。これは沖縄県勢として初の快挙でした。その後、本学に入学をしましたが、高校時代から痛めた肘が完治せず、苦渋の決断の末に3年生より学生コーチに転身しました。

特に物事の善悪をはっきり言う性格で、同級生にも叱咤激励は頻繁に行っていました。しかし、後輩には良き兄貴分として慕われて、学年問わず人望も厚かったです。野球だけでなく学業も単位をしっかりと修得していて、教職課程も学ぶなど非常に努力家な一面も持っていました。何事にもプラス思考で失敗を恐れず取り組む姿勢は、今の後輩たちにも見習ってほしいです。

愛知学院大学 硬式野球部 監督
田中 洋



第1回

春のオープン
キャンパスが
開催されました

4月20日(日)に第1回オープンキャンパスが開催され、13時半からは、「行列のできる法律相談所」でお馴染みの住田弁護士講演会が日進キャンパス12号館G105教室で行われました。

当日は、各学科の教員による個別相談をはじめ、高校生に興味のあるテーマを各学部

の教員が色々な角度から問題分析し解説する「トークセッション」などのイベントを開催し、多数の高校生・保護者の皆さんが来校しました。熱心に教員・入試スタッフなどに質問する姿など、本学を目指す方々にとって有意義な1日となったと思います。



学院の春

三年前から学生だけでなく、地域の人にも桜を楽しんでもらおうと開催されている日進キャンパス春の一般公開が今年も開催されました。三月末から四月上旬にかけて、学内にある約千本の桜が満開となり、昼食を持参の家族連れや、元気にキャンパスを走り回る子どもの姿など、普段のキャンパスとは一風変わった光景が見られました。三年目を迎え地域の方々にも浸透し、今年は昨年よりも多い方が来校されました。

